

新しい道へ! 日本橋へ!

首都高速道路日本橋区間地下化事業

安全・安心な新しい「道」へ

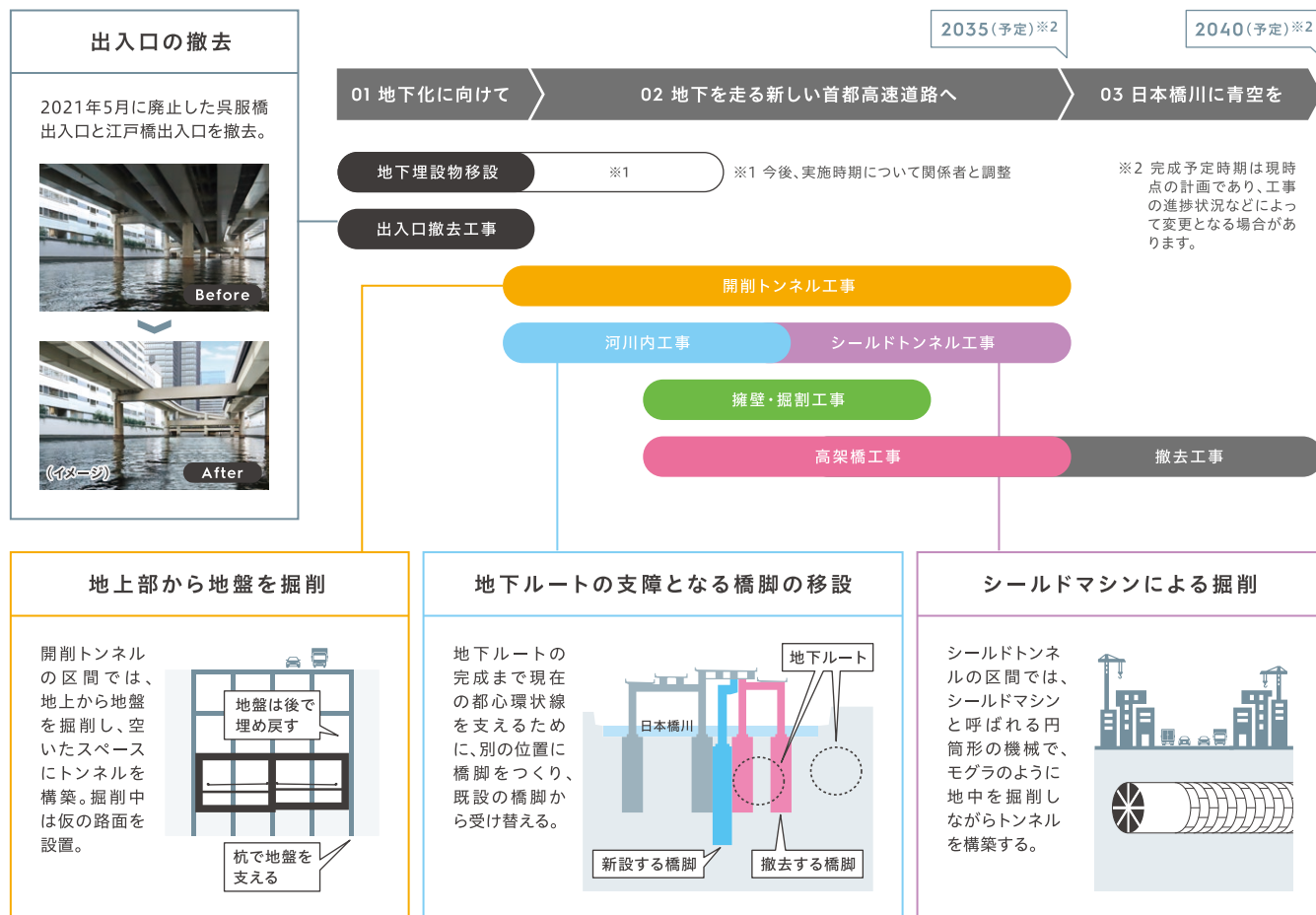
日本橋川上空の首都高速道路は、都心部の渋滞解消のために、1964年の東京オリンピック前に建設され、1963年の開通から60年以上が経過しています。本事業区間※は、1日あたり約10万台の自動車が走行する過酷な使用状況にあるため、構造物の損傷が激しく、更新が必要となっています。都心部の交通を支える首都高速道路を、次世代へつなぐ、安全・安心な道にするため、地下化事業とあわせて、構造物の更新を図ります。



※再開発の計画はイメージです

工事の流れ

地下ルートの完成後に日本橋川上空の高架橋を撤去します。



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社

未来の日本橋へ

日本橋川上空に架かり、開通から60年以上が経つ首都高では、2040年度の完成を目指してリニューアル工事を行っています。まちづくりと一体となった、青空が見える日本橋。持続可能な、安全・安心な未来の「道」へ。未来へ向かって、首都高・日本橋は生まれ変わります。

3D空間「DOOR」公開中！

青空を取り戻した未来の日本橋、地下化される首都高をメタバース空間で体験いただけます！ここでしか体験できない、未来の日本橋に、ホームページからアクセス！



※首都高構造物以外はイメージです

事業について、詳しくはホームページで

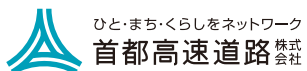
- 事業概要をムービーで紹介
- 工事の進捗状況を毎月更新
- 工事の手順や技術を図解
- 地域の皆さまとの交流イベントを記録
- 職員が現場を案内するYouTube動画を公開

事業に関する
コンテンツが
盛りだくさん！

首都高 日本橋



<https://www.shutoko.jp/ss/nihonbashi-tikaka/>



更新・建設局 調査・環境課
電話03-6803-3771
受付時間(平日) 10:00~17:00

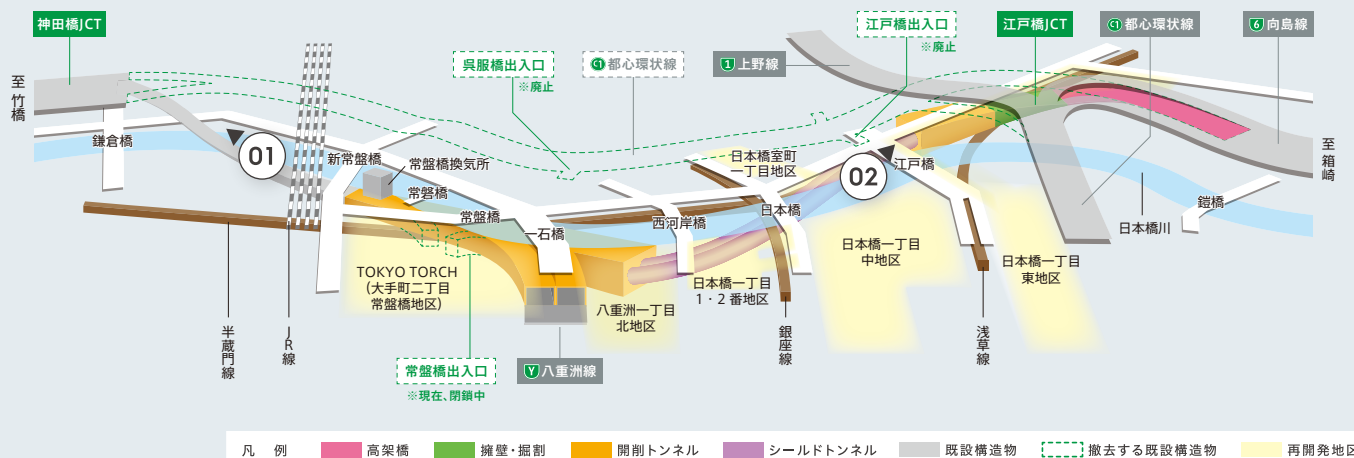
新しい日本橋の「まち」へ

日本橋川周辺は、国家戦略特区の都市再生プロジェクトに位置付けられ、多くの再開発計画が立ち上がり、新しいまちづくりが始まっています。首都高速道路株式会社は「立体道路制度」※を活用し、建物の地下にトンネルを整備することで、これらのまちづくりと一体となって地下化事業に取り組み、地域の魅力のさらなる向上に貢献します。それにより、日本橋川周辺の景観や環境の改善が図られ、新しい日本橋の「まち」へ生まれ変わります。

※道路として利用する範囲を立体的に定めることで、道路敷地の上下空間に建物の建設を可能とするもの

地下ルートイメージ

本事業では、神田橋ジャンクション～江戸橋ジャンクション間の約1.8kmを地下ルートで整備します。



凡例 高架橋 擁壁・掘削 開削トンネル シールドトンネル 既設構造物 撤去する既設構造物 再開発地区

View 01



Before

View 02



Before



After



After

PRルームのご案内

事業に関するパネルや立体模型を展示しています。観覧をご希望の方は、事前にご予約をお願いいたします。

PRルームに関する詳しい内容については広報ギャラリーより、「PRルームのご案内」をご覧ください。

詳しくはこちらから

